

呉市手をつなぐ育成会

～3月号～

令和4年3月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 品川 美保子

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823)24-2260

Fax (0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

育成会だより



障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



呉市立郷原中学校
わかたけ学級作品



春をあつめました！

もくじ

- 表紙 呉市立郷原中学校
- P.2 連載/副会長 井本健一 いくせい太鼓活動紹介
- P.3 呉本庄つくし園卒園文集より
- P.4 2022～春～「諒へ」サロン「みんなの話」
- P.5 祝 卒業・卒園「地域の小学校に入るまでの
気持ちとそれまでについて」
- P.6 ぼくの学級！わたしの学級！
呉市立広南小学校
- P.7 笑顔の足あと 本人活動 2021！
- P.8 お礼 広報部長「一年を振り返って」
お知らせ他 編集後記

3月の予定

3月26日(土) いくせい太鼓 14:00～

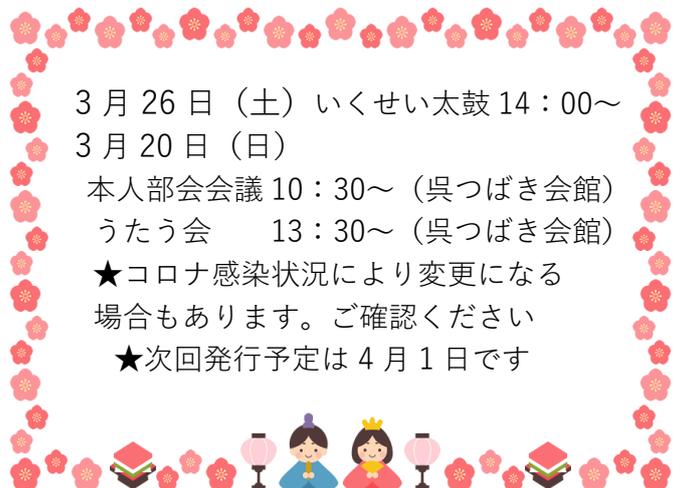
3月20日(日)

本人部会会議 10:30～ (呉つばき会館)

うたう会 13:30～ (呉つばき会館)

★コロナ感染状況により変更になる
場合もあります。ご確認ください

★次回発行予定は4月1日です





今回は、平成23年の「劇団たいよう」呉公演と日本連合教育会全国大会呉大会についての内容です。

呉市手をつなぐ育成会 副会長 井本健一

皆さん、こんにちは。今回は、前回少し触れましたが紙面の都合で詳しくお伝え出来なかった「劇団たいよう」呉公演について、ご紹介したいと思います。

平成23年の暮れ、呉市内で管理栄養士をされている、長島さんと湯川さんという二人の女性が私を訪ねてこられました。お二人は劇団たいようとの出会いのいきさつと劇団たいようが広島でぜひ公演を実現したいという熱い思いを語られました。

劇団たいようは1995年に旗揚げされた隠岐の島に拠点を置く劇団です。

知的障害者支援施設「仁万の里」を利用されている仲間と職員による演劇サークルとしてスタートし、「障害のある人もない人も一緒になって舞台を構成し、みんなで楽しみ、誰もが輝きあう」ことを目的として活動されています。

呉市手をつなぐ育成会で公演実現に向けて何とか力を貸してもらえないかというお話でした。

早速、育成会で皆さんのご意見を伺い検討した結果、育成会は全面協力するが、事業としては別途実行委員会を立ち上げて進めようということになり、平成24年の2月には、第1回の実行委員会が開催されました。幅広く多くの方に委員としてご活動いただき、その年の10月の公演に向け準備が進められました。

公演の内容は「あの日の授業」という演題で、戦争と平和をテーマとした内容とな

っています。チケットも委員の皆さんのご努力で目標を上回る900枚以上を売り上げ、無事、公演の日を迎えることができました。

講演後のアンケートでは様々な感想をいただき、「出演者のお一人おひとりがそれぞれ輝いていました。大きな勇気をいただきました。ありがとうございました。」など、感動する声が多く聞かれました。

また、この年、平成24年8月には、前回でも紹介しましたように、日本連合教育会全国大会が呉大会として、開催されました。

当時の呉教育会の会長は、呉市手をつなぐ育成会の会長を務められた森さんです。

この大会で分科会のテーマとして、初めて（と聞いております）、特別支援教育が取り上げられ、呉市手をつなぐ育成会としても全面協力することになりました。

分科会の司会は元常務理事の渡辺さん、提案者3名は信濃教育会と富山県教育会そして呉市教育会ですが、呉市については、育成会の副会長の徳永さんが担当されました。

又助言者として、育成会の香川会長（当時）と私の2名が担当させて頂きました。

貴重な機会をいただき大変ありがたく感じたとともに、こうした他団体の中での活動というものも、今後に新たな可能性を見出せるものだと感じました。

..... つづく

いくせい太鼓 活動紹介

私たちいくせい太鼓は2002年に発足して今年で20年目を迎えました。「太鼓本舗かぶら屋」の頼常智子先生のご指導のもと、コロナ感染防止対策をしながら、月1回、マリニビルの5階で現在13人のメンバーで練習しています。

今、感染拡大防止のため、いろいろあった発表の場がなくなってしまっていますが、月1回でも仲間と会って太鼓を叩くのがストレス発散



にもなり、みんなとても楽しみにしています。

先生も、優しく楽しく教えて下さり、いつも笑いが絶えません。

これからも元気に！楽しく！みんなで太鼓を楽しんでいこうと思っています。



「末っ子スターゆたか☆」

呉本庄つくし園
卒園文集より

きりん組：合田 優（6歳）母：合田 亜友美

合田家3きょうだいの末っ子スター・優はビッグ。いろんな意味でデカくかわいい女の子です。こんなこと言ったら「ビッグじゃないよ！ゆたかちゃんだよ！！」突っ込みまでいれてくれる我が家のスター。

そんな優のお話をさせてください。

優はさすが3人目。分娩所要時間は数十分でした。きょうだい例にもれずビッグベビーでした。よく寝る、よく飲む。3人目ってこんなに楽なのかーと気楽な産後でした。

産後3か月で新しい職場へ復帰。まだ幼い上のきょうだいを文字通り抱えながらバタバタしていました。

そんなある日、優の一つ上のお兄ちゃんの病気(白血病)発覚、長期入院。退院後も長期の治療のため、当時まだ幼すぎた優は県東部にある祖母宅にて暮らしていました。毎週末祖母宅に会いに行き、日中の様子は祖母たちが写真や動画を送ってくれていました。

1歳半健診で遅れがあることを指摘され、2歳児健診。そこでも指摘を受けましたが、離れて暮らしている私には何もできませんでした。

お兄ちゃんはずでに発達の遅れがあったので「あー、たぶんこの子もそうだ」と漠然と感じていました。

優が4歳になる年の春から、やっと家族揃って過ごせるようになりました。そして3歳児健診。身体計測する時点で大号泣。周りのお母さん方、保健師さんや看護師・保育士さんからの突き刺さる視線に、申し訳なささと居心地の悪さを感じながら何とか最後の保健師さんとの面談。

開口一番「今度診察受けますので」と逃げるように帰りました。帰宅後即診察予約。兄のこともあって流れはつかんでいたのに動くのは早かったです。

診察・診断の日。先生「妹さんね、自閉症です」。母は即「ですよね。」あまりの反応の速さに先生から「わかってましたか」と返されました。

ここまでとにかく突っ走ってきました。本当なら近くにいるはずの時期に一緒にいることができなかった。何もできなかった。それを取りもどすように、「早く療育を始めなくてはいけない！」うつむく時間も惜しかった。

「あ、えっと…」急にぼろっと涙が出てきました。兄の診断の日は泣かなかったのに。

不快に思われるかもしれませんが、正直な気持ちを書きます。「あなたも(自閉症)か」きょうだいで発達障害で、知的障害があるのか。この子たちは将来どうなる？私たちはどうすればいい？たくさんの不安が押し寄せてきました。

数分、先生の前で泣かせていただき、泣いて気持ちが吐き出せたのでしょね。すっきりしていました。ここで悩んでずっと立ち止まっているわけにいかない。生きていかなきゃ。

そこからはまた走る。保育園に通いつつ療育も利用。年長の一年間だけ、兄も通ったつくし園へ入園することができました。あんなに他者への興味も薄く、非活動的だった優は、イキイキとした顔で「今日はね」と園でのことなど、家路につく間おしゃべりをしてくれます。一年だったけど、つくし園に入れて本当に良かったです。

最後になりましたが、先生方には大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。保護者の皆様にも感謝申し上げます。集まってお話ができなかったのは残念ですが、(勝手に)仲間はこちらにいますので！これからもよろしくお祈りします！



2022年～春～

諒へ

よく動き回り、飛び跳ねてニコニコ笑顔の男の子はそのまま大きくなりました。

朝、登校のバス停へ向かいながら、早歩きの貴方を後ろから小走りで追いかけて、広くなった背中を見ると、嬉しくも時折淋しいような気持ちになるのは何故でしょうか。



振り返れば、貴方がいることで、多くの方々との出会いや関わり、知り得ることも無かった知識や情報、そして何よりも私

自身の心の持ち方や性格を良い方に変えてくれたのだとつくづく思います。

平和主義で、マイペースな貴方は、基本穏やかだけど、たまにはやらかしてビックリ!でもニヤッと笑える空間を作ってくれたことに感謝しています。

4月からは社会人です。また新しい環境で新しい人達との出会いが待っていますね。今まで優しく親身に関わってくれた方々への感謝を忘れず、そのことを心の糧にこれからも頑張るね。貴方なら大丈夫!これからもずっと応援しています。卒業おめでとう。

呉特別支援学校 佐川由紀子



サロン「みんなの話」

ひとりじゃない 何でも話そう聞いてみよう報告



息子の学校のことで、日頃悩んでいたことを具体的に相談し、いろいろなアドバイスをいただき気持ちが少し楽になりました。

毎日の生活の中で、『息子の頑張ったことやよかったところを書き留める』提案をしていただきました。これから私の宿題として日々息子と向き合っていきたいと思います。

色々辛いことがあって、これまで人との距離を空けていた気がします。

聴いてくれる方がいるんだあと嬉しかったです。

祝卒業・卒園

地域の小学校に入るまでの気持ちとそれまでについて

私の娘は、4月から地域の小学校に通うことが決まっています。それは、娘の意見を尊重して決めました。

娘は、中等度難聴です。呉南特別支援学校の幼稚部への入学も迷っていましたが、言葉を覚えるために、1番大切な幼児期を呉南特別支援学校で過ごし、言葉を覚え、発音を明瞭にし、小学校から地域へ入る方がいいと思い呉南特別支援学校を選びました。

そのおかげで、娘の言葉は沢山増え、しっかりお話ができるようになりました。本当に、先生方のおかげだと思います。

親としては、このまま呉南特別支援学校の小学部に入る事も悩みましたが、娘はずっと

沢山お友達を作りたい!と言っていました。なので、娘が進みたい道を選ぶ事にしました。

正直な所、不安や心配な所は沢山あります。ですが、私は娘にはやりたい事は何でも挑戦して欲しいと思っているので、一つ一つ一緒に乗り越えて行けたらいいなと思っています。まだまだ、分からない事や、ぶつかる事も沢山ありますが、母として子としてこれからもお互い成長し合っていきたいと思っています。



呉南特別支援学校 中吉愛

呉市立小・中学校 特別支援学級の皆さん 卒業おめでとうございます

育成会は人と人の繋がりを大切に、寄り添い、一緒に考えるところです。そして、少し前を照らし、一歩進めるよう活動しております。相談事に丁寧に対応しお母さん方の背中をそっと押して差し上げることを心がけております。このような活動ができるのは、皆様のご厚志のおかげです。今後ともよろしくお願い致します。(品川会長挨拶より抜粋)



記念品贈呈式を行いました。



例年、呉市立中学校特別支援学級卒業激励会が行われていましたが、今年度も昨年に引き続き、コロナ感染予防のため開催されませんでした。

卒業生の皆さんへ、育成会よりささやかではありますが、記念品とメッセージカードを贈呈させていただきました。また、呉本庄つくし園の卒園児の皆さんや、呉市立小学校特別支援学級の卒業生の皆さんへも、あわせて贈呈させていただきました。

呉本庄つくし園の皆さん 卒園おめでとうございます



ほくの学級！
わたしの学級！

広南小学校ひまわり学級

広南小学校のひまわり学級1組は4年生1名、ひまわり学級2組は2年生2名、6年生1名の児童が在籍しています。

自立活動の時間には、合同で楽しい活動をしています。

栽培活動



学級園では、トマト・オクラ・トウモロコシ・ナスを植えて、「ぐんぐん育てね！」とお願いしながら、水やりをしました。

ダンス



自分で作ったポンポンで、「ドラえもん」のダンスを踊りました。みんなで楽しく体を動かしました。

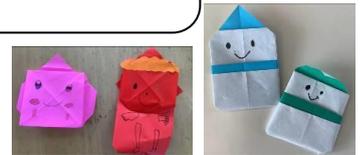
こま作り



ひまわり学級1組の児童が算数科で学んだことをもとに、友達によく回るこまの作り方を教えました。



折り紙



仲良く遊ぼう



コロナ禍であるので、上手に距離を取りながら遊んでいます。また、みんなが楽しく過ごすことができるように、ルールを守ったり、優しい声かけをしたりしています。

雪だるまや雪の結晶、節分の鬼などを作りました。素敵な作品が出来上がりました。

ふりかえり



毎時間、自分が頑張ったことを思い出したり、友達が頑張ったことを見つけたりして、発表しています。

えがお あし ほんにんかつどう 笑顔の足あと 本人活動 2021!

ことし はい まんえんぼうし ほんにん かつどう
今年に入りコロナ蔓延防止で、本人さんの活動がストップしています。
こんねんど かつどう しゃしん か かえ みな ま あ じむきよく
今年度の活動を写真で振り返ってみました。皆さんコロナに負けずにまた会いましょう。事務局





「育成会だより発行！この一年を振り返って」



連載コーナーでは、「つながろう、ことばと笑顔の交差点」を品川会長。そして、副会長の井本が、育成会活動でたくさんの方と繋ってこられたことを紹介。

本人活動では、字を練習。大切な人に手紙を書き、うたう会は仲間も増え、楽しい時間を共有。

新型コロナウイルスワクチン接種の学習会に参加。県大会の話し合いを行い、10月中四国大会「すまいる大会」高知大会に、リモートで参加。12月呉南ロータリークラブ・清水ヶ丘学園の皆さまとクリスマス会を開催。

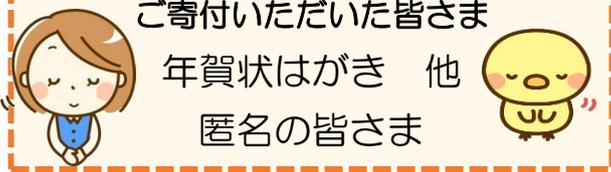
いくせい太鼓は、太鼓本舗かぶら屋、頼常先生のご指導のもと練習。

「表紙絵」や「ぼくの学級わたしの学級」では小中学校特別支援学級の紹介。

サポートファイル学習会や新しい試みのサロン「みんなの話」へ参加された方の感想を掲載。

☆ありがとうございました☆
【順不同・敬称略】(2月20日現在)

ご寄付いただいた皆さま
年賀状はがき 他
匿名の皆さま



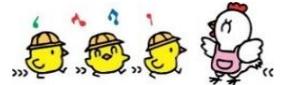
「手をつなぎ生きる」では子育てで嬉しかったこと大変だったことを書いて頂く。

広警察署を訪問。訪問に至るまでの流れ、内容を掲載。

こうして様々な活動や情報を掲載させて頂きました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。来年度も引き続きご協力をお願いいたします。

広報部部长 井村律子

～サポートファイル学習会報告～



2月14日(月) コロナ対策をしながら、今年度最後のサポートファイル学習会を実施しました。予約の段階で、皆さんのコロナ禍での子育ての不安な思いが伝わってきました。

サポートファイル学習会に参加したら書き込み・書き替えをします。子育ての悩みや不安をお話された方もいらっしゃると思います。ポツリと、悩みを共感してもらえ…ひとりじゃないと感じ気持ちが少し楽になりましたと…進級・進学を4月に控え、子どもたちと一緒に目標を持ち毎日を大切にしていきたいです。日程がどうしても合わず参加できない方はご相談下さい。「個別の記入会」も実施しております。ご遠慮なくご連絡ください。

子育てを整理し、次の小さな一歩を踏み出しましょう。

● 参加された方の声 ●

- ・就学相談の時に役立ったので、年長の方にお勧めしたいです。
- ・長い間開けなかったサポートファイルを、学習会をきっかけに開くことができました。他のお母さんの話が聞けて自分だけじゃない！と元気ができました。
- ・他の方と話ができて、共感してもらえてとっても嬉しかったです。



編集後記

オミクロン株が猛威を振るう中「コロナ、陽性になったみたい」障害のある子どもが感染し高熱でぐったり！お母さんは心配でおろおろしておられました。そして何日かして、お母さんも高熱。おまけに喉も痛いし倦怠感も…

でもその頃には息子はすっかり元気！無症状だが濃厚接触お父さんが息子の世話で悪戦苦闘。食料調達は別に住む長男が置き配。結局半月ほど自宅へ籠りつきり。元氣一杯過ぎる障害の息子の対応に、今更ながら健康と事業所の有難味がわかったと言われました。

人ごとと思わず、今一度気を引き締めていきましょう。